

# 平成29年度 公益財団法人日本環境整備教育センター 事業報告

## 公益目的事業

### 1. 国家試験事業

#### (1) 浄化槽管理士試験（昭和60年より実施・通算34回）

平成29年10月22日（日）5会場〈5会場〉（宮城県、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）において実施。

申請者 1,160 〈1,184〉名、欠席者 153 〈124〉名、受験者 1,007 〈1,060〉名、  
合格者 250 〈259〉名、合格率 24.8 〈24.4〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

#### (2) 浄化槽設備士試験（平成23年度より実施・通算7回）

平成29年7月9日（日）5会場〈5会場〉（宮城県、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）において実施。

申請者 1,048 〈1,095〉名、欠席者 108 〈105〉名、受験者 940 〈990〉名、  
合格者 335 〈329〉名、合格率 35.6 〈33.2〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

## 2. 講習事業

### (1) 浄化槽管理士講習（昭和 60 年度より実施・通算 492 会場）

- ① 14 会場〈16 会場〉（宮城県、東京都 6 回、愛知県、大阪府 2 回、福岡県 3 回、熊本県）において実施。

申請者 1,436 〈1,559〉名、受講者 1,432 〈1,558〉名、受験者 1,431 〈1,558〉名、  
修了者 1,292 〈1,379〉名、修了率 90.2 〈88.5〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

- ② 再考査申請者 222 名、欠席者 10 名、再考査受験者 212 名、修了者 49 名、  
修了率 22.1%

### (2) 浄化槽設備士講習（昭和 60 年度より実施・通算 394 会場）

- ① 6 会場〈7 会場〉（東京都 4 回、大阪府、福岡県）において実施。

- ② 申請者 356 〈422〉名、受講者 356 〈419〉名、受効者 356 〈419〉名、  
修了者 343 〈403〉名、修了率 96.3 〈96.2〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

### (3) 浄化槽技術管理者講習会（昭和 61 年度より実施・通算 291 会場）

- ① 10 会場〈8 会場〉（北海道、宮城県、新潟県、東京都 4 回、愛知県、大阪府、福岡県）において実施。

申請者 746 〈606〉名、受講者 745 〈604〉名、受験者 744 〈604〉名、  
修了者 712 〈571〉名、修了率 95.6 〈94.5〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

- ② 再考査申請者 21 名、欠席者 0 名、再考査受験者 21 名、修了者 8 名、  
修了率 38.1%

### (4) 浄化槽検査員講習会（昭和 61 年度より実施・通算 77 会場）

- ① 2 会場〈2 会場〉（東京都 2 回）において実施。

申請者 102 〈100〉名、受講者 102 〈100〉名、受験者 102 〈100〉名、  
修了者 81 〈91〉名、修了率 79.4 〈91.0〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

- ② 再考査申請者 18 名、再考査受験者 18 名、修了者 12 名、修了率 66.7%

(5) 浄化槽清掃技術者講習会（昭和 60 年度より実施・通算 48 会場）

- ① 1 会場〈1 会場〉（東京都）において実施。

申請者 164 〈173〉名、受講者 163 〈173〉名、受験者 163 〈173〉名、  
修了者 159 〈164〉名、修了率 97.5 〈94.8〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

- ② 再考査申請者 5 名、再考査受験者 5 名、修了者 0 名、修了率 0 %

(6) 浄化槽管理士アップデート講習会

- ① コンパクト型浄化槽の保守点検の実務に関する講習会

（平成 20 年度より実施・通算 7 会場）

未実施。

- ② コンパクト型浄化槽の保守点検の実務に関する講習会Ⅱ

（平成 23 年度より実施・通算 7 会場）

未実施。

(7) 浄化槽設備士アップデート講習会

浄化槽施工管理技術講習会（平成 23 年度より実施・通算 7 会場）

未実施。

## 2. 2 関連業務

(1) 浄化槽管理士免状の交付（昭和 60 年度より実施）

環境省との契約に基づき、浄化槽管理士台帳の作成及び浄化槽管理士免状の送付等を実施。

平成 29 年度 交付者数 1,665 名（交付累計 83,281 名）

(2) 浄化槽設備士台帳等作成（平成 29 年度（単年度）実施）

国土交通省との契約に基づき、浄化槽設備士台帳の作成及び浄化槽設備士免状の送付等を実施。

平成 29 年度 交付者数 673 名（交付累計 88,006 名）

### (3) 浄化槽管理士証の発行（昭和 61 年度より実施）

平成 29 年度 発行者数 567 名（交付累計 32,988 名）

### (4) 講習会受講修了証明証の発行（平成 16 年度より実施）

平成 29 年度 浄化槽技術管理者発行者数 175 名（交付累計 3,398 名）

平成 29 年度 浄化槽清掃技術者発行者数 69 名（交付累計 1,105 名）

### (5) 教材の製作

テキストの内容修正等

- ・ 各講習会テキストの修正

主に浄化槽行政データの更新（浄化槽設置基数や全国の水洗化率など）。

### (6) 平成 29 年度浄化槽整備推進業務（環境省浄化槽推進室）

#### ① 浄化槽トップセミナーの開催

主として市町村長、市町村議会議員等の地方公共団体の政策決定に携わる者並びに浄化槽等行政関係者を対象に、経済的・効率的な生活排水処理施設として、浄化槽の特徴や地域の実情にあった生活排水処理施設の整備手法を選択するための提案・説明を行い理解を得ることを目的として、浄化槽トップセミナーを開催した。

- 熊本県熊本市 実地日 平成 30 年 1 月 11 日（木）

参加者数 113 名（うち市長、議会議員等 14 名）

- 北海道札幌市 実地日 平成 30 年 2 月 1 日（木）

参加者数 96 名（うち町村長（副町村長）、議会議員等 11 名）

#### ② 浄化槽行政ブロック会議の開催

都道府県及び市町村浄化槽行政担当者を対象に、浄化槽の具体的な整備内容・手法や課題への取り組み等に関して、国及び地方公共団体間での連携を図り、浄化槽行政の現場サイドに立った課題の解決に繋げることを目的として、浄化槽行政ブロック会議を開催した。

- 北海道・東北ブロック

宮城県仙台市 実地日 平成 29 年 11 月 21 日（火）

参加者数：20 名

- 中部・北陸ブロック

愛知県名古屋市 実地日 平成 29 年 12 月 1 日（金）

参加者数：20 名

- 四国・中国ブロック  
徳島県阿南市 実地日 平成 30 年 2 月 9 日（金）  
参加者数：24 名
- 九州・沖縄ブロック  
福岡県福岡市 実地日 平成 30 年 2 月 14 日（水）  
参加者数：33 名
- 関東甲信越ブロック  
東京都墨田区 実地日 平成 30 年 2 月 27 日（火）  
参加者数：19 名

### 3. 普及啓発事業

#### (1) 全国浄化槽技術研究集会

平成 29 年 10 月 10 日(火)、「浄化槽の日」の関連行事の一環として、環境省、国土交通省、農林水産省、浄化槽の日実行委員会、全国浄化槽推進市町村協議会の後援を得て、岡山県岡山市「ホテルグランヴィア岡山」において第 31 回全国浄化槽技術研究集会を開催。(参加者 1,418 <1,150>名)

**※ くく 内は前年度実績**

##### ① 全国浄化槽技術研究集会

浄化槽技術研究会会員、浄化槽行政機関の職員、学識経験者、関係業界等、浄化槽関係者が参加して、式典、浄化槽関係事業功労者 環境再生・資源循環局長表彰贈呈、浄化槽研究奨励・楠本賞の贈呈及び公益財団法人日本環境整備教育センター理事長感謝状贈呈を実施。また、『『尿尿の処分から処理、そして共生へ』というテーマで講演（演者：北海道大学公共政策学研究センター 眞柄 泰基 氏）を実施。(参加者 833 <628>名)

**※ くく 内は前年度実績**

##### ② 研究発表会

浄化槽等に関連する研究発表（18 <20>課題）を 2 会場で実施。

**※ くく 内は前年度実績**

##### ③ 浄化槽検査員研究会

浄化槽検査員等、指定検査機関に所属し浄化槽の検査業務に従事する者を対象として、午前は浄化槽行政担当者研究会と合同で、環境省、国土交通省、農林水産省、総務省、内閣府の各担当者からの行政報告、及び「岡山県の浄化槽

行政について」、「浄化槽分野の個人情報保護について」の情報発表を実施。午後は2会場に分かれて、「5 S活動における法定検査業務の統一化、効率化の向上について」、「受検拒否の実態と受検率向上のための改善策」、「新しいタイプの性能評価型浄化槽について」の情報発表を実施。(出席者 318 <355>名)

※ < > 内は前年度実績

## (2) 浄化槽行政担当者研究会の開催

平成 29 年 10 月 11 日(水)、環境省、国土交通省、農林水産省の後援を得て、岡山県岡山市「ホテルグランヴィア岡山」において、全国都道府県・政令市ならびに市町村協議会会員市町村の浄化槽行政担当者による第 39 回浄化槽行政担当者研究会を開催。午前は浄化槽検査員研究会と合同で、午後は2会場に分かれて、「循環による持続可能なまちづくり」、「生活排水処理事業に関する秋田県の取り組みについて」、「平成 29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業)について」、「平成 29 年度全浄协会会员市町村の浄化槽担当部署の変化について」の情報発表を実施。(出席者 267 <167>名)

※ < > 内は前年度実績

## 4. 研究助成事業

### (1) 研究助成

浄化槽に係る技術の開発等に寄与することを目的として、その基盤となる学術研究及び調査について、大学、国公立研究機関及び公益法人研究機関等に所属する研究者を対象に助成を実施。平成 29 年度は 8 課題の申請があり、研究助成委員会において 2 課題を採択した。(昭和 62 年度から平成 29 年度までの助成課題申請総数 697 課題、採択課題数 171 課題)

### (2) 浄化槽研究奨励・楠本賞

浄化槽に係る調査研究を奨励することを目的として、平成 28 年度全国浄化槽技術研究集会において研究発表されたもののなかから優秀 2 課題を選考し、平成 29 年度全国浄化槽技術研究集会において顕彰を実施。(平成 8 年度から平成 29 年度までの奨励課題数、最優秀 14 課題、優秀 37 課題)

優 秀：「コンビニエンスストアに設置された浄化槽の実態調査に関する一考察」  
(発表者：桃澤健)

「使用及び維持管理状況から見た小型合併処理浄化槽の処理性能への影響要因」  
(発表者：塩澤富実夫)

## 収益事業

### 1. 研修事業

(1) 浄化槽清掃技術者追補講習会（平成 23 年度より実施・通算 6 会場）

未実施。

(2) 浄化槽清掃実務者講習会（昭和 63 年度より実施・通算 156 会場）

3 会場〈1 会場〉（埼玉県、和歌山県、福岡県）において実施。

申請者 212 名〈128〉名、受講者 212 名〈127〉名、修了者 212 名〈127〉名

※〈〉内は前年度実績

(3) コンパクト型浄化槽の清掃の実務に関する講習会

（平成 17 年度より実施・通算 45 会場）

未実施。

(4) コンパクト型浄化槽の清掃の実務に関する講習会 II

（平成 23 年度より実施・通算 7 会場）

未実施。

(5) 浄化槽技術管理者追補講習会（平成 25 年度より実施・通算 4 会場）

未実施。

(6) モアコンパクト型浄化槽に関する講習会 I

（平成 25 年度より実施・通算 19 会場）

2 会場〈4 会場〉（群馬県、鹿児島県）において実施。

申請者 140〈198〉名、受講者 140〈195〉名、修了者 140〈195〉名

※〈〉内は前年度実績

(7) 講師派遣等

国、地方公共団体、浄化槽関連団体等の講習会・研修会 38〈42〉会場に対して講師等を派遣。

※〈〉内は前年度実績

## (8) 実務セミナーの開催

継続教育の重要性と共に講習会修了者等のニーズに応えるため、平成16年度より実施。平成29年度は教育センターにおいて10回開催（参加者84<244>名）。地方開催なし。地方開催については、地元（浄化槽技術研究会賛助会員）の要望により講師を派遣。（※浄化槽技術研究会賛助会員の特典として、地元開催を可能としている。）

※ < > 内は前年度実績

### ○ 教育センター会場のテーマ

- ・ 浄化槽のトラブル事例と対応策
- ・ 性能評価型登録浄化槽の構造と維持管理上の留意事項
- ・ 海外における分散型汚水処理の現状と水ビジネス
- ・ 小型浄化槽の技術的変遷と解説
- ・ 生物相からみた処理機能診断と運転管理技術
- ・ ディスポーザー（生ごみ粉碎機）排水処理の現状と課題
- ・ 浄化槽の高度処理技術の基礎知識と応用技術
- ・ 人口減少・高齢化社会に向けた生活排水処理施設整備計画の見直しと課題
- ・ 汚泥の有効利用の方法と課題
- ・ N除去技術、P除去技術と運転管理方法

## 2. 調査研究事業

### 2. 1 調査研究事業

#### (1) 浄化槽の処理機能へ及ぼす影響試験に係わる評価試験業務

ライオン株式会社より新製品に関する評価試験の業務委託に関する事前検討会を開催したが、業務は未実施。

#### (2) 浄化槽技術支援業務

##### 1) 登録浄化槽審査受託事業

- ① 登録審査 9 <8> 申請（新規 0 <2> 申請、更新 9 <6>申請）
- ② 実地調査 152 <133> 基（新規 39 <102> 基、更新 113<31>基）

※ < > 内は前年度実績

##### 2) 環境技術実証事業自然地域トイレし尿処理技術分野における試料採取・分析等業務



支援先：特定非営利活動法人 日本トイレ研究所  
環境技術実証事業自然地域トイレし尿処理技術分野（実証機関：特定非営利活動法人 日本トイレ研究所）において、有限会社Mファイン技術サービスが申請した水処理循環型トイレ（方式：水使用－生物処理－微生物剤投入）に関する試料採取・分析等を実施した。

### （3）調査・研究業務

#### ◎ 環境省（浄化槽推進室）の調査等に関する業務

##### 1）浄化槽システム強靱化に係る調査検討業務

本業務では、以下の4つ事項に関する調査を行った。

- ① 浄化槽の災害対策の実態
- ② 浄化槽台帳システムの ICT 化の実態
- ③ 災害時における浄化槽の活用事例

これらの調査結果から、災害対策計画等の推進及び浄化槽台帳の ICT 化の必要性と促進を目的とした電子化した資料を作成した。

##### 2）浄化槽の法定検査に関する調査検討業務

効果的・効率的な法定検査の導入を推進するため、指定検査機関に対するアンケート調査及びヒアリング調査を実施し、基本検査の実態、第7条及び第11条検査受検率向上のための取り組みについて把握した。また、浄化槽の「休止」の取扱いの実態について調査した。これらの結果は、指定検査機関の全国会議を開催し、指定検査機関に情報を提供した。

##### 3）浄化槽情報基盤整備支援業務

浄化槽台帳システムの導入を具体的に検討している自治体（埼玉県及び熊谷市）を対象に、浄化槽台帳システムの試行導入を支援した。また、過年度調査（民間の有する情報基盤と連携した浄化槽情報基盤整備支援業務、浄化槽情報基盤整備フォローアップ業務）の結果を踏まえ、「浄化槽台帳システムの導入促進に向けた意見交換会」を開催し（10 県）、台帳システムの普及を図った。

### （4）計量証明等に関する業務

実績なし

### 3. 国際協力事業

#### 3. 1 国際協力業務

##### (1) 研修協力

- ・ JICA 課題別研修「下水道技術・都市排水コース」
- ・ JICA 課題別研修「分散型污水处理システム導入・普及」
- ・ 「中国住宅と都市農村建設部農村污水处理技術北方研究センター職員研修」

##### (2) 専門家派遣

- ・ 環境省「日イランテクニカルセミナー」
- ・ 環境省「平成 29 年度災害に強い環境インフラの海外展開に関する調査検討及びセミナー開催支援業務」に係るムンバイセミナー

##### (3) 国際会議等における情報収集と情報発信

以下の国際会議・展示会等に出席し、海外における分散型污水处理に関する情報収集及び日本の分散型污水处理システム（浄化槽）に関する情報発信を行った。

- ・ 「アジア開発銀行 50 周年記念行事併設展示会（浄化槽展示）」（横浜）
- ・ 「日中グリーンエキスポ 2017」（中国・北京）
- ・ 「コミュニティ向け資源型し尿処理システムに関する国際ワークショップ」（南アフリカ・ダーバン）
- ・ 「中国農村環境総合保全サミット・污水处理フォーラム」（中国・南京）
- ・ 「第 8 回世界水フォーラム」（ブラジル・ブラジリア）

#### 3. 2 国際調査業務

##### (1) 平成 29 年度浄化槽グローバル支援業務（環境省浄化槽推進室）

現地調査（南アフリカ、ミャンマー、ブラジル）を実施し、国際会議に出席し、世界における污水处理に関する情報収集及び日本の浄化槽システムの情報発信を行った。また、日本のし尿処理・分散型污水处理に関する情報発信及びアジア分散型污水处理関係者とのネットワーク構築のため、ミャンマー国ヤンゴン市において「第 5 回アジアにおける分散型污水处理に関するワークショップ」を企画・開催した。

## (2) 平成 29 年度中国における日本の分散型污水处理技術の広報業務

(環境省浄化槽推進室)

平成 29 年 6 月に中国の北京で開催される「日中グリーンエキスポ 2017」の環境省ブースにて、浄化槽に関する展示を行い、展示会の来訪者に対して、浄化槽をはじめとする日本の分散型污水处理技術について情報発信を行い、中国における分散型污水处理施設のニーズ等の把握・整理を行った。

## (3) 平成 29 年度日本の分散型污水处理システムに関する広報支援業務

(環境省浄化槽推進室)

日本の浄化槽システムの海外展開を行うに当たっては、個別処理と集合処理の包括的な展開を行うとともに、汚泥処理も含めた污水处理全体の管理が重要である。

本業務は、今後浄化槽の海外展開を推進するため、海外における污水管理について集合処理との連携方法や、海外への普及促進方法等について検討を行った。また、日本の浄化槽システムを紹介する小冊子「日本におけるし尿処理・分散型生活排水処理システム（英語版）」について、最新の統計データ等を取り入れ改訂を行った。

## (4) 平成 29 年度第 8 回世界水フォーラムにおける浄化槽の広報業務

(環境省浄化槽推進室)

平成 30 年 3 月にブラジルで開催された「第 8 回世界水フォーラム」において、パネル及びパンフレット等を展示し、日本の分散型污水处理技術である浄化槽の広報活動を行った。

## (5) 「農村地域における生活排水等の適正処理事業」(中国四川省農業庁)

本事業では、四川省農村地域における農家の生活排水処理を適切に実施するため、日本の浄化槽導入を前提とした事前調査、実施計画の作成を行った。次年度以後は、浄化槽のモデル事業を実施する予定。

## (6) JICA 国別研修(マレーシア)「污水处理と衛生に関する政策と規制枠組み」に関する研修実施機関業務

本研修は、マレーシア国の下水処理と衛生事業の規制当局である国家上下水道事業委員会(SPAN)の職員を対象に実施された。日本の污水处理に関する政策・制度、組織体制、財政、維持管理等のレクチャーや現場視察を実施した。

## 4. 公益目的事業推進事業

### 4. 1 浄化槽技術研究会業務

- ・ 浄化槽技術研究会（昭和 61 年、浄化槽に関する技術上の情報交換、発表を目的に設置）

構成メンバーは、個人会員 710 <764>名、賛助会員 54 <55>法人（平成 30 年 3 月末現在）。会員には「月刊浄化槽」の配布、センターの発行する書籍、実務セミナー参加料の割引を実施。

※ < > 内は前年度実績

### 4. 2 出版業務

#### （1）機関誌「月刊浄化槽」の発刊・頒布

#### （2）論文集「浄化槽研究」の発刊・配布

浄化槽に関する学術論文、調査報告等を「月刊浄化槽」において随時発表。（2018 年 1 月号に Vol.30 No. 1 ; 計 1 報）<前年度 2 報>

#### （3）各種講習会テキストの発行・頒布

#### （4）新刊図書等の発行・頒布

新刊図書の発行なし

#### （5）改訂版の発行・頒布

- ① 「浄化槽の維持管理」
- ② 「浄化槽整備事業の手引 2017 年版」
- ③ 「国家試験 浄化槽管理士試験問題集（H26～H28）」
- ④ 「国家試験 浄化槽設備士試験問題（H26～H28）」

#### （6）既刊図書・頒布

- ① 「小型浄化槽の構造および維持管理」
- ② 「小型合併処理浄化槽維持管理ガイドライン」
- ③ 「浄化槽技術者の生活排水処理工学」
- ④ 「水の消毒」
- ⑤ 「浄化槽の機能診断と対策」

- ⑥ 「浄化槽用語事典」
- ⑦ 「登録小型合併処理浄化槽要覧 ～16年追補版」
- ⑧ 「小型合併処理浄化槽保守点検・清掃記録票の解説と記入方法」
- ⑨ 「浄化槽のはなし」(普及啓発用パンフレット)
- ⑩ 「浄化槽ってなに」(普及啓発用パンフレット)
- ⑪ 「JOHKASOU SYSTEMS FOR DOMESTIC WASTEWATER TREATMENT 6th Edition」
- ⑫ 「浄化槽工学」
- ⑬ 「性能評価型小型浄化槽の概要」
- ⑭ 「性能評価型小型浄化槽の概要2」
- ⑮ 「国家試験 浄化槽設備士試験問題 (H23～H25)」
- ⑯ 「性能評価型小型合併処理浄化槽の制御装置 (タイマー等) の操作方法」(DVDビデオ)

#### (7) 広報資料等の企画・配布、普及啓発活動

行政機関及び関係団体からの普及啓発資料掲載に関する転載許諾事務

### 4. 3 情報通信事業

#### (1) 情報検索システムの管理・整備

- ① 「月刊浄化槽」、「浄化槽研究」情報検索システムの整備を実施。
- ② 浄化槽技術研究会会員等の情報管理を実施。

#### (2) ウェブサイトの充実と活用

ホームページの拡充・整備を実施。

- ・ 新着情報の更新頻度の向上
- ・ Google アナリティクスによる各ページの閲覧数、海外からの閲覧数等を把握。

### 4. 4 浄化槽CPD(継続教育)制度

- ① 浄化槽CPDガイドラインの改訂(案)の作成。
- ② 浄化槽CPD制度技術委員会の開催。